

ナポリバロックとハプスブルク

2019年10月25日[金]

18:00 - 20:00

国立西洋美術館 講堂（企画展示館地下2階）

開催中の「ハプスブルク展」の
チケットが必要です。（半券も可）

◆当日のハプスブルク展は20:00で終了となります。
イベント終了後はご覧いただけませんので、事前
のご観覧をおすすめいたします。

定員 130人

※当日、17:00より館内で整理券を配付いたします。定員に達し次第、配付を終了いたします。

18世紀前半のおよそ四半世紀、ナポリはオーストリア・ハプスブルク家の統治下にありました。この頃に
繁栄したナポリ楽派はのちにモーツァルトなどウィーンで活躍した音楽家たちにも影響を与えるなど、当時の
ナポリの文化を紐解くことは、「ハプスブルク展」の舞台でもある、オーストリアの文化を知るうえで重要な
ポイントといえます。

第一部に、18世紀ナポリの美術・文学・音楽についてのトークを、第二部は、ベルカントオペラフェスティ
バル・アカデミア生によるミニコンサートをおおくりします。展覧会と合わせてお楽しみください。

◆ 第一部：トーク「18世紀ナポリの美術・音楽・文学」

導入・美術 渡辺晋輔（国立西洋美術館主任研究員）



1972年鎌倉生まれ、東京大学博士後期課程中退。専門はイタリア美術史。
企画した展覧会に『ラファエロ展』『グエルチーノ展』『ルーベンス展』など。著書に『ジョットとスクロヴェーニ礼拝堂』（小
学館）など。グエルチーノ国際美術史研究所（イタリア、チェント市）学術委員。

文学 西本晃二（東京大学文学部名誉教授）



イタリア文学者、フランス文学者。東大文学部仏文科を卒業。カナダのラヴァル大学哲学博士。
イタリア文学科教授（81年）、文学部長（93年）。カナダのヴィクトリア大学、ナポリ東洋大学客員教授。
駐イタリア大使となり、ローマ日本文化会館館長も務めた。

音楽 アントニオ・グレーコ（指揮者）

* 逐次通訳
通訳：大崎さやの



本年クレモナ・モンテヴェルディ音楽祭とラヴェンナ音楽祭（ヘンデル《メサイア》）、ピサのアニマ・ムンディ音楽祭（S. ロッ
シとC. モンテヴェルディの交響曲と詩篇）、ベルカント・オペラ・フェスティバル・イン・ジャパン（A・スカララッティ《貞
節の勝利》）に登壇。12月にはクレモナ・アンティーク管弦楽団・コスタンツォ・ポルタ合唱団を指揮し《ミサ・ソレムニス》
にてベートーヴェン・イヤーの幕開けを飾る。オーケストラ指揮者および合唱指揮者として、ディスカンティカ、タクトウス、
ソニー、ボンジョヴァンニ、ダイナミックの各レーベルにて収録を行っている。

◆ 第二部：ミニコンサート

出演者 独唱：来崎 寛未・石岡 幸恵・杉山 沙織・小野寺 光 チェンバロ：林 直樹

プログラム

- ♪ J. A. ハッセ／あなたはすぐに戻るでしょう
- ♪ G. B. ボノンチーニ／愛しい瞳よ
- ♪ N. ポルポラ／なんという疾風が吹き
- ♪ A. カルダーラ／せめて拒否はしないでおくれ
- ♪ G. B. ボノンチーニ／なんて美しい、しかし残酷な

ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン

日本初の本格的なオペラ音楽祭として、本年3月オペラ《フランチェスカ・ダ・リミニ》を日本初演して大好評を得た。提携する伊ヴァッレ・ディ
トリア音楽祭でF. ルイーゼのアシスタントを務めるC. サントーロが本音楽祭の芸術監督に就任。11月にはA. スカララッティの稀有なバロック・
オペラ《貞節の勝利》を上演するほか、コンサート、シンポジウム、公開講座、人材育成マスタークラスなどを開催予定。

※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。

同時期開催の展覧会

日本・オーストリア友好150周年記念

ハプスブルク展

[企画展示室]

2019年10月19日(土) - 2020年1月26日(日)

開館時間 | 9:30 ~ 17:30 (金曜・土曜は 20:00 まで、ただし 11/30 は 17:30 まで)

休館日 | 月曜日 (ただし、11月4日(月・休)、1月13日(月・祝)は開館)

11月5日(火)、12月28日(土) ~ 1月1日(水・祝)、1月14日(火)

◆ 展覧会公式サイト <https://habsburg2019.jp> @habs2019



ディエゴ・ベラスケス《青いドレスの王女マルガリータ・テレサ》
1659年 ウィーン美術史美術館蔵 Kunsthistorisches Museum Wien

13世紀末にオーストリアへ進出後、同地を拠点に勢力を拡大し、広大な帝国を築き上げたハプスブルク家。15世紀以降、神聖ローマ皇帝の位を世襲し、ナポレオン戦争を引き金に同帝国が解体したのは、後継のオーストリア帝国(1867年にオーストリア・ハンガリー二重帝国に改組)を統治しました。数世紀にわたって広い領土と多様な民族を支配し、ヨーロッパの中心に君臨し続けた同家は、まさに欧州随一の名門と言えるでしょう。

ハプスブルク家の人々はまた、豊かな財とネットワークを生かして、質量ともに世界屈指のコレクションを築いたことでも知られています。そのうちオーストリアを拠点とし続けた同家本流による蒐集品の主要部分は、今日のウィーン美術史美術館における収蔵品の核となっています。オーストリアと日本の国交樹立150周年を記念する本展では、同館の協力のもと、絵画、版画、工芸品、タペストリー、武具など約100点、5章7セクションから、そのコレクションの歴史をみていきます。ハプスブルク家のコレクションの礎を築いた神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世(1459-1519)から、美術史美術館の建設者でもあるオーストリア・ハンガリー二重帝国「最後の皇帝」ことフランツ・ヨーゼフ1世(1830-1916)まで、同家の人々の紹介も兼ねつつ、時代ごとに蒐集の特色やコレクションに向けられたまなざしを浮き彫りにしていくことが本展のねらいです。

夜間開室時間延長のお知らせ — 金・土は 20:00 まで! —

金曜・土曜は、常設展、ハプスブルク展ともに、20:00 までご覧いただけます。週末の夜を美術館でゆったりとお過ごしください。

また、毎月最終金曜日のプレミアムフライデーは、常設展のみ 21:00 まで開室延長し、展示内容と関連した夜間イベントを開催しております。お気軽にご参加ください。

■ 休館日 ■ 常設展・ハプスブルク展 20:00 まで ■ プレミアムフライデー ■ 常設展 20:00 まで

*「創エネ・あかりパーク 2019」の会期中、10/31(木)-11/3(日)は建物がライトアップされます。また、10/31(木)、11/3(日)は、常設展のみ 20:00 まで開室延長をいたします。

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

* 11/30(土)は 17:30 まで

 **国立西洋美術館**
The National Museum of Western Art

国立西洋美術館ではフランス近代の絵画・彫刻を中心とした「松方コレクション」を基礎とし、14世紀から20世紀半ばまでの西洋の美術作品の展示を行っています。

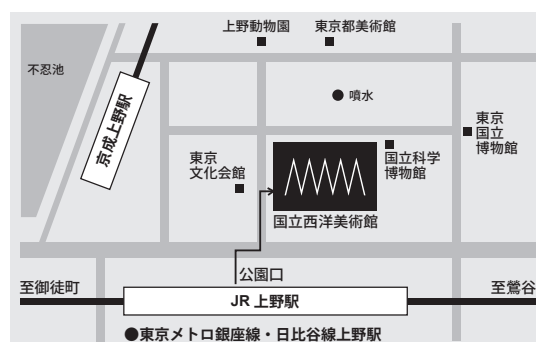
2016年7月、「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」の構成資産のひとつとして世界文化遺産に登録されました。

公式 Twitter: イベント
情報など発信しています

 @NMWATokyo

[東京 上野公園]

〒110-0007 東京都台東区上野公園7番7号



お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
国立西洋美術館ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>

JR上野駅下車(公園口出口)徒歩1分 / 京成電鉄京成上野駅下車
徒歩7分 / 東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分
※ 美術館には駐車場はありません。